



1 大正14年から昭和2年の田検小では

大正14～15年(昭和元年)～昭和2年までの田検小学校での出来事を拾い出してみました。

沿革史に記載されている仮名遣いで記述しました。

田検小学校では		日本・世界
大正14年 11月3日	○陸上運動會開始	大正12年に關東大震災
11月7日	○尋常五以上秋季遠足 阿室(同校運動會に参加)	
11月4日	○第一校舎改築工事着手	
12月9日	○第一校舎落成につき祝宴を新校舎にて開く	
大正15年 5月27日	○海軍記念式舉行 余興舟漕競争 須古児童と一般希望者参加 ○西校舎屋根修繕開始	12月28日 大日本相撲協會(後の日本相撲協會)設立
6月5日	○村教育研究会開催	
9月17日	○暴風雨ノ為 西校舎二棟全倒ス	前年に東京六大学野球開始
10月24日	○敷地拡張埋立作業(区域民)	
11月3日	○久志校へ向ケ一日遠足 久志校ニ運動會参加 阿室 須古 名柄本校優勝	8月10日 日本放送協會(NHK)が設立
11月9日	○三年以上奄美嶽登山参拝	
12月25日	○天皇陛下御崩御ノ公報アリ	天皇崩御の同日が「昭和元年12月25日」となった
昭和元年 2月7日	○御大葬日ニツキ職員児童有志一般遙拜式舉行	2月7日 大正天皇大喪行
4月21日	○鹿児島裁判署長来校陪審制度ニ関スル講話	3月9日 金華山沖で鹿児島商船水産学校の練習船「霧島丸」が沈没(43名死亡)
5月7日	○春季一日遠足 今里須古 石良方面へ	
5月11日	○新校舎竣工	5月21日 チャールズ・リンドバーグが大西洋の単独無着陸飛行に成功
5月13日	○新校舎落成祝 午後六時ヨリ開ク講堂ニテ	
6月18日	○ <u>亜米利加人形役場ヨリ到着</u>	7月24日 芥川龍之介が死去
6月20日	○ <u>亜米利加人形歓迎小學藝會アリ</u>	
7月13日	○水泳指導開始	
7月22日	○ <u>迅鯨艦見學(停泊中)</u> <注:海軍の軍艦>	
7月25日	○潜水艦長来校 遭難狀況講演アリ	

2 見えてくること

(1) 遠足

阿室、久志、今里まで歩いて行っていたことが分かります。行った先の小学校の運動會に参加し、学校同士で競い合っていた様子もうかがえます。

(2) 校舎と購買部

大正15年5月27日から「西校舎屋根修繕」が始まったのですが、4ヶ月後の9月17日に襲来した台風(暴風雨)のために、その「西校舎二棟」が全部壊れてしまったことが分かります。

当時の校舎は木造だったと思われませんが、大変な被害を受けた後、子どもたち(尋常科約500人、高等科約180人)の授業は、いったいどこでどのようにしていたのでしょうか? 気になるところです。

昭和2年10月21日、学校の中に購買部が開店したのです。「開店式」を盛大に開き、校区のみんなで喜び祝ったのでしょう。(現在、購買部はありません。)

(3) 亜米利加人形(アメリカ人形)

昭和2(1927)年3月、日本とアメリカが仲良くなるようにと願い、アメリカ人宣教師のシドニー・ギューリック博士が提唱して親善活動が始まりました。その一環として、アメリカから3月3日に日本郵船の天津丸で日本の子どもに12,739体の「青い目の人形」が贈られたのです。日本の仲介者は渋沢栄一でした。その一体が、同年6月18日に役場から田検小に届いたのです。その人形、今どうなっているかな?

(4) 「迅鯨艦」とは大日本帝国海軍の潜水母艦



<フリー百科事典 ウィキペディアより>

迅鯨艦(じんげいかん)とは、大正12(1923)年8月に竣工した日本海軍で初めての潜水母艦(予備魚雷や糧食を搭載した補給艦125.4m)のことです。佐世保を母港とし、当時は主に中国方面で任務に当たっていたようです。その途中に、湯湾港に寄港したものと思われる。

その艦船が、学校近くの港に停泊していたときに、子どもたちが「艦内見學」をさせてもらい、3日後には、艦長が来校し子どもたちへ話をされたようです。

今年10月、停泊中のまき網船「昭徳丸」を5・6年生が見學させてもらいました。港が近い田検小は、昔から停泊する船との関係をつくっていたのですね。

(文責:福田裕生)